



クラス懇談会の様子



♪雨があがったよ
お日さまが出てきたよ
青い空の向こうには
虹がかかったよ〜♪
元氣がもらえる歌です(^.^)♪

ひかりの子幼稚園
園長 若槻 三記子

梅雨明けが近づき、いよいよ夏の到来を予感させる季節となりました。先日はお忙しい中、クラス懇談会にご出席いただき、ありがとうございました。担任や1号主任から、日頃の保育の様子を写真や動画を通してお伝えさせていただきました。画面に映し出されるお子さんの表情を、保護者の皆様が愛おしそうに見つめておられた姿が、印象に残っています。また、育児の悩みを共有し、共感し合える有意義な時間を過ごせましたことに、心より感謝いたします。

懇談会では、「泥んこ遊びを思い切りさせてもらって嬉しい」「遊びが学びになっているんですね」「自分たちで作ったもので遊びを広げられているところが素敵」「子どもたちでグループ名を決める際、担任が一人ひとりの思いを丁寧に聞き取ってくれている」「園でたくさんの愛をもらっていることが伝わりました」といったお言葉をいただきました。園の考えに共感していただき、お子さんの成長と一緒に喜ぶことが何より嬉しいです。

その一方で、日頃のご家庭でのリアルな悩みもたくさん出されました。「朝の行き渋りがある」「反抗期、かんしゃくをよく起こす」「汚い言葉を使う」「オムツがなかなか外れない」「小学校に向けて、今から何を準備したらいいのかわからない不安…」等。一生懸命にお子さんに向き合っているからこそ、悩みや焦りが生まれるのは当然のことだと思います。

中でも、多くの保護者の方から「気になること」として挙げられたのが、朝の「行き渋り」や、お家での「かんしゃく」についてでした。「育て方が悪いのかな」「園が楽しくないのかな」と不安になることもあるかもしれません。これらは決してネガティブなことではなく、子どもが順調に成長している大切な証(サイン)ではないでしょうか😊

行き渋り

4月のスタートから3ヶ月が経ちました。子どもたちは園という「社会」の中で、自分の力で一生懸命がんばっています。まずは、その気持ちを言葉にして丸ごと受け止めてあげてください。正論で説得するよりも、「ママと一緒にいたいんだね」「〇〇ちゃんの気持ちを分かっているよ」とハグをしたり、手を繋いだりして、心の充電を満タンにしてあげることが一番の近道だと思います。園に行けない日(行きづらい日)があっても大丈夫です💡

かんしゃく

園では泣かずに過ごしているのに、家に帰ってきた途端に激しいかんしゃくを起こす💧そんな姿に戸惑うこともあるかと思います。かんしゃくの背景には、言葉にならない感情の爆発や感覚の過敏さ、そして疲労があるからです。子どもたちは園で、お友達に譲ったり、ルールを守ったりと、自己コントロールをフル回転させています。その飽和状態になった緊張が、お家に帰ってホッとした瞬間に溢れ出てしまうのです。また、まだ自分の「悔しい」「疲れた」という複雑な感情を言葉でうまく表現できないため、体全体で爆発してしまいます。激しいかんしゃくの最中は、脳が興奮状態にあるため、叱ったり諭したりしても届きません。まずは安全を確保し、嵐が過ぎ去るのを静かに待ちましょう。少し落ち着いてきたら、「悔しかったね」「疲れたね」と、子どもが言いたかった気持ちを代弁してあげてください。自分の気持ちに名前をつけてもらうことで、子どもは少しずつ感情のコントロールを学んでいきます。

子どもたちの「行き渋り」や「かんしゃく」は、外の世界で一生懸命生きようともがいている、成長の一コマだと思います。園ではこれからも、子どもたちが安心して自己を発揮し、失敗を繰り返しながら「自分でやる楽しさ」を感じられる環境を大切にしていきます。お家でたくさん甘え、園で力いっぱい遊んで学び、そしてまたお家で充電する。このサイクルを、保護者の皆様と一緒に温かく見守っていただけたら幸いです。